





三栖洗堰と三栖閘門はそれぞれ竣工から90年目を迎えました。このたび淀川資料館では、三栖洗堰と三栖閘門について所蔵している建設当時の資料の展示を行います。

三栖洗堰

### 三栖洗堰(みすあらいぜき)

大正7(1918)年に始まった淀川改修増補工事によって伏見新堤が築設された後も、常時京都疎水は従来通り宇治川に流入することとなり、さらに市内の悪水が加わるのでこれを排除するために三栖地先に排水門として昭和3(1928)年3月に竣工しました。

### 三栖閘門(みすこうもん)

伏見新堤の竣工後に、伏見市外運河および京都市疎水運河と宇治川との舟運連絡を図るもので、三栖洗堰下流、高瀬川合流口に新設され昭和4(1929)年3月竣工しました。



三栖閘門

伏見の三栖洗堰と三栖閘門展